

令和7年第2回（6月招集）袖ヶ浦市議会定例会

一般質問日程

質問順	議員名	質問予定日
1	緒方 妙子	6月16日（月）午前10時30分頃
2	鈴木 嵩人	6月16日（月）午後1時15分頃
3	木村 淑子	6月16日（月）午後2時15分頃
4	小島 仁美	6月16日（月）午後3時15分頃
5	高橋 大志	6月17日（火）午前9時30分頃
6	佐藤 博文	6月17日（火）午前10時30分頃
7	渡辺 あゆみ	6月17日（火）午後1時15分頃
8	山本 浩太郎	6月17日（火）午後2時15分頃
9	励波 久子	6月17日（火）午後3時15分頃
10	篠崎 典之	6月18日（水）午前9時30分頃
11	伊東 章良	6月18日（水）午前10時30分頃
12	根本 駿輔	6月18日（水）午後1時15分頃
13	笹生 猛	6月18日（水）午後2時15分頃

※時間は目安です。議事の進行により前後することがあります。

令和7年第2回（6月招集）袖ヶ浦市議会定例会

市政に関する一般質問通告者一覧表

13名 24件

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
1	17番 緒方 妙子議員	1 給食について	(1) 学校給食について
			① 物価高騰が続く中、給食への影響が心配です。質を落とすことなく、栄養バランスを考えての学校給食についての対応を伺います。
			② 学校給食は地場産物の活用、行事食やイベント等に合わせ、食育も含め、献立をきめ、提供されておりますが、他市で特色ある献立の提供がみられます。本市の特色ある取組について伺います。
			③ 保護者から、給食が足りない。とのお声を伺う時があります。現状を伺います。
			④ 反対に給食残渣への取組も課題となっています。給食の食べ残しの推移、改善への取組と調理残渣の処理について伺います。
			(2) 公立保育所の給食・副食について
		① 物価高騰が続く中、保育所での副食費・給食費の値上げについて現状を伺います。	
		② 保育所での給食について保護者へのアンケート調査を実施し、3歳児以上への主食の提供を検討していると伺いました。経緯と現状について伺います。	
		2 有害ごみ、小型家電等への対応について	① 近年、廃棄物処理施設や収集車などで小型充電式電池やスプレー缶、ライター等に起因する火災事故が発生しています。市町村による分別回収や適正処理をさらに徹底していくべきと感じます。本市の事故などの有無、現在の回収対応について伺います。

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>② 電子タバコやワイヤレスイヤホン等に内蔵されている製品の電池の取り出し方がわからない、捨て方がわからないとお声を伺います。適正な出し方について周知が必要と感じますが本市の対応を伺います。</p> <p>③ 環境省は家庭から出される不要になったリチウム蓄電池等を市町村が回収するよう努める新たな方針を通知しました。本市の対応を伺います。</p> <p>④ 本市でも使用済み小型家電の回収を行っているが回収の状況、回収後の現状について。また収集された小型家電を障がい者就労支援施設等へ引き渡し、リサイクルを促している自治体もあります。本市としても検討をしないか伺います。</p>
2	2番 鈴木 嵩人議員	1 一般廃棄物処理基本計画、災害廃棄物処理計画及び再生資源物管理の現状と課題について	<p>(1) 一般廃棄物処理基本計画の進捗と次期計画の重点取組</p> <p>(2) 災害廃棄物への備えと処理体制の現状</p> <p>(3) 再生資源物の屋外保管に関する条例施行後の現状と課題への対応</p>
3	10番 木村 淑子議員	<p>1 市民のための移動支援について</p> <p>2 通学路の環境整備について</p>	<p>(1) デマンド型乗合送迎サービス「チョイソコがうら」は、昨年10月より市内全域での実証運行が始まりました。喜びの声と合わせて、「予約が取りづらくなった」「ゆりの里での乗り換えが不便」等のご意見をいただいています。今後の本格運行および利便性の向上に向けた取組について、見解を伺います。</p> <p>(2) 高齢者移動支援について本市の取組を伺います。</p> <p>(1) 通学中の事故を防止するための対策を伺います。</p> <p>(2) 令和5年4月に幽谷分校が平岡小学校に統合され、遠距離通学の児童のために、平岡小学校ではスクールバスが導入されています。他の学区の保護者等から、送迎車による渋滞や事故の危険などを回避するために、スクールバスを要望する声があります。見解を伺います。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
		3 市民の健康を守る取組について	<p>(1) 高齢者肺炎球菌ワクチン接種状況を踏まえて、今後の対応について本市の考えを伺います。</p> <p>(2) RSウイルス感染症対策について伺います。 RSウイルス感染症とは、RSウイルスの感染によって引き起こされる呼吸器感染症です。RSウイルスは、乳幼児の呼吸器感染症の原因ウイルスとして知られています。特に生後6ヶ月以内に感染した場合には、細気管支炎、肺炎など重症化する場合があります。 また、高齢者や基礎疾患のある成人においても肺炎などを引き起こすことがあります。 感染防止にはワクチン接種が有効ですが、公費助成について本市の見解を伺います。</p>
4	3番 小島 仁美議員	1 特定外来生物ナガエツルノゲイトウについて	(1) 現在までに把握している袖ヶ浦市内でのナガエツルノゲイトウの分布や被害状況、それに対する対応を伺います。
		2 袖ヶ浦市の女性が安心して日常生活を送り、出産ができる環境整備について	<p>(1) 市内に産婦人科がないことについての市の考えを伺う。</p> <p>(2) 市として産婦人科医療の提供体制の確保に向けて主体的な対応が必要と考えるが、今後の対応について伺う。</p>
5	5番 高橋 大志議員	1 空き家対策事業について	<p>(1) これまでの取組と現状について本市における空き家の件数や利活用の取組について伺う。</p> <p>(2) 現状を踏まえた今後の見通し、空き家への対策について 空き家を減らすための取組、例えば子育て世帯の移住、定住を支援する具体的施策を推進すべきと考えるが市の見解を伺う。</p>
		2 防犯対策強化並びに交通安全対策について	<p>(1) 本市への警察署誘致について、市の現時点でのスタンスを伺う。</p> <p>(2) 防犯カメラ付き自販機の導入による防犯強化を検討しないかを伺う。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			(3) 上泉、花川橋交差点で撤去された信号の再設置をしないか伺う。
		3 「お弁当の日」の今後のあり方について	(1) お弁当の日は本市でどのような経緯でスタートした制度なのか。
			(2) お弁当の日の廃止も含め、今後のあり方について伺う。
6	8番 佐藤 博文議員	1 災害に強いまちづくりについて	<p>袖ヶ浦市は東京湾に面し、自然と都市が調和する魅力ある地域ですが、近年の気候変動により、台風・豪雨・地震などの災害リスクが高まっています。市民の命と財産を守るため、「災害に強いまちづくり」の推進が急務であり、現状の課題と今後の取組について以下の点について伺う。</p> <p>(1) 地域防災計画の実効性について</p> <p>① 令和5年の市内全戸配布以降に袖ヶ浦市に転入された市民に対して、ハザードマップの配布状況と市民への周知方法はどの様に行われているか伺う。</p> <p>② 過去の能登半島地震など大規模災害の教訓を踏まえ、市として「市公式LINE」と「生活安全メール」それぞれの通信到達性について調査を行っているか伺う。</p> <p>③ 袖ヶ浦市では、災害時に配慮が必要な要配慮者を対象にした支援体制をどのように構築しているのか。制度の概要と対象者数、登録状況について伺う。</p> <p>④ 市内各避難所の耐震化やバリアフリー化の状況について伺う。</p> <p>⑤ 地震による下水道破損や断水などで下水道が使用できないケースでは、マンホールトイレを使用できない場合が想定されるがどの様に考えているか伺う。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
		2 アクアライン 通行料金の時間 帯別割引を 活用した観光 誘導策につい て	<p>東京湾アクアラインは観光やレジャーに大きな影響を与える重要な交通インフラであり、現在、県にてETC時間帯別料金の社会実験が実施されており、袖ケ浦市としても、割引時間帯までに観光客を市内に引き留める工夫や、仕掛けが必要と考えることから、以下の点について伺う。</p> <p>(1) ETC時間帯別料金の社会実験の実施による市内観光の仕掛けについて</p> <p>① アクアラインの早朝・夜間割引により、観光客の滞在時間の変化が見込まれるが、市としてその影響をどのように把握・分析しているのか、また時間を過ごせる場所や仕掛けづくりへの考えについて伺う。</p> <p>② 観光客に通行料金割引時間帯まで滞在してもらうには、夜まで営業する施設やナイトイベント、長時間滞在型コンテンツなど「夜まで楽しめる袖ケ浦」の魅力づくりが重要と考えるが、市としての現状について伺う。</p> <p>③ アクアライン経由の観光客を広域で呼び込むには、市単独ではなく木更津・君津・市原など周辺自治体や観光事業者と連携し、滞在促進型の観光エリア形成が重要と考えるが、現状について伺う。</p> <p>④ 観光客がアクアラインの通行料金割引時間帯を意識して訪れるよう誘導するには、市公式SNSや観光協会サイト、デジタル観光ガイドマップ等と連携した情報発信が有効と考えるが、こうした時間帯別プロモーションや情報発信体制強化について、市の検討状況を伺う。</p>
7	7番 渡辺 あゆみ議員	1 子どもたちの 命と尊厳を守 るための支 援・居場所づ くりについて	<p>(1) 配慮が必要な家庭の子どもが、学校行事等で家庭の事情を知らない外部の人によって撮影・投稿されることへの懸念と、市や学校による事前の配慮・注意喚起のあり方について</p> <p>(2) 児童虐待・DV相談件数の推移と支援体制の整備、並びに0歳児の見守り訪問「オムツ定期便」の導入について</p> <p>(3) 市内の自然資源を活用した子どもの自然体験や、学校以外の居場所づくりの可能性について</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
8	1番 山本 浩太郎議員	1 森林整備について	(1) 政府は2033年度までに、花粉の発生源であるスギ人工林を約2割削減することを目標にしているが、本市におけるスギをはじめとした人工林の面積と市所有林の有無を伺う。
			(2) 本市における間伐等と植え替えの取組状況を伺う。
			(3) 本市における市内産木材の活用状況を伺う。
		2 チョイソコがうらの利便性向上について	(1) 市内全域に実証運行開始になってからの年齢別、地域別、時間帯別の利用状況と乗合率を伺う。
(2) 運行時間について、現在は祝日を除く月～土曜日の9時～17時の運行となっているが、運行時間外の需要はないのか伺う。			
(3) 公共交通機関空白地帯に住んでいる市民の為の通勤通学を考慮したチョイソコがうらの運行を検討しないか伺う。			
9	18番 励波 久子議員	1 「子どもの権利条約」と「こども計画」策定について	(1) 日本が「子どもの権利条約」を批准してから5月で31年になります。しかし、子どもの権利が侵害される虐待、いじめ、不登校など子どもを取り巻く状況や実態把握件数は増加しています。今年度に「こども計画」を策定するため上半期にアンケート調査を実施予定とのことですが、小中学生について小学5年生と中学2年生を対象に考えているとのことでした。3月議会で一人一台タブレットがあり、費用もかからず実施できるので、「できるだけ多くの子どもの意見を聴くべきだ」と質問しましたが、実施に向けて検討がされたのか伺います。
			(2) 子どもの権利が侵害された場合の救済機関として、「子どもの人権オンブズパーソン」等の行政から独立した第三者機関の設置をしている自治体もありますが、本市でもこども計画策定の中で今後設置を検討しないか伺います。

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
		2 市職員の職場環境に関する市長の認識と改善策について	<p>(1) ここ数年、若手職員の退職だけではなく経験を積んだ保健師や技術職の退職、療養休暇等で休職する職員もおり、市職員の職場環境が以前にも増して悪化しているのではないかと危惧しています。現状をどのように市長は認識しているのか伺います。</p> <p>(2) 市職員の労働環境について市長はどのような職場環境であるべきと考えているのか伺います。</p>
		3 市民協働と南庁舎の活用について	<p>(1) 市民協働会議室の登録件数と利用状況について伺います。</p> <p>(2) 南庁舎は市民に開かれた庁舎を実現するため、市民協働ゾーンとして整備しました。このうち市民ギャラリーの利用については、窓口が管財契約課となっており、利用目的も制限されています。市民や、市民団体の方が市民ギャラリーも含めた南庁舎を一体として利用できるように市民協働推進課への窓口の一本化を行い、利用についても柔軟に対応し、真に開かれた庁舎にすべきと考えますが改善しないか伺います。</p>
10	23番 篠崎 典之議員	1 地域農業支援施策および環境保全行政について	<p>「袖ヶ浦駅西側地区まちづくり」等、市内西部のまちづくり計画推進の一方で、市内東部の根形・平川地域では、重要産業であるはずの農業の衰退が深刻である。減反政策等、政府の失政によるコメ不足が全国的に深刻化する中、農業従事者が減少し続けている。家族農業をはじめとした農業従事者を支援する施策が不明確であると考えられる。農業の衰退・耕作放棄地の増加は、残土埋立・産廃処分問題とも連動し、違法な埋立等も見受けられる。以下について伺う。</p> <p>(1) 袖ヶ浦市農業の大半を占める小規模・家族農家が元気になる効果的な支援施策をどのように考えているのか。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>(2) 米価の高騰の中、各地で大規模農地をはじめイネカメムシの被害も懸念され、今年以降もコメ不足が続くとの指摘もある。本市の主力農産物である水稲について今後、市としてコメ農家が主食用米を増産可能となるような各種支援策実施を急ぐべきと考えるが、どのように考えているのか。</p> <p>(3) 市内の残土埋立の概況と「ヤード条例」の運用状況を伺う。</p> <p>(4) 林地区で発生した木材チップ火災の経緯と課題を伺う。</p> <p>(5) 市が水質検査を行う千葉県環境財団の目的と独立性について伺う。</p>
11	9番 伊東 章良議員	<p>1 袖ヶ浦市の教育行政方針について</p> <p>2 視覚に困難を抱える方への市の支援について</p>	<p>このたび再任された教育長のもと、これまで袖ヶ浦市で培われてきた教育の成果を継承しつつ、新たな時代に対応した教育・文化・スポーツ施策の展開が求められています。そこで以下の点について伺います。</p> <p>(1) 「読書のまち袖ヶ浦」として進めてきた読書教育の意義とこれまでの成果をどのように評価し、今後どのように発展させていくのか。</p> <p>(2) 中学校の部活動地域移行を見据え、子どもたちが安心してスポーツに取り組めるようにするための指導者や環境整備など、市としての支援体制の現状と今後の方針について伺う。</p> <p>(3) 総合運動場の陸上競技場において日没後も市民が利用できるよう、夜間照明設備の整備を検討しないか。</p> <p>様々な障害に対する支援がある中で、視覚に障害を抱える方々に対し、市が現在行っている支援の内容と取組について伺う。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
12	13番 根本 駿輔議員	1 こども計画について	<p>本年第1回袖ヶ浦市議会定例会の施政方針において、こども基本法に基づく「こども計画」の策定に着手することが示された。</p> <p>同法で策定が努力義務とされた「こども計画」は、区域内のこども施策に全体として統一的に横串を刺すこと、住民にとって一層分かりやすいものとするなどが期待されているものだが、自治体こども計画の策定にあたっては、「こどもや若者の状況やニーズをよりの確に踏まえた実効性のある計画とするために、計画の対象となるこどもや子育て当事者等の意見を幅広く聴取して反映させることが必要」とされている。</p> <p>本市のこども計画策定にあたり、こどもや子育て当事者等の意見を聞く機会をどのように設けていくのか伺う。</p>
13	20番 笹生 猛議員	1 袖ヶ浦市総合計画後期基本計画策定における人事異動と業務継承について	<p>今年度の人事異動においては、特に問題が顕在化している分野に関わる部署において、担当職員の入替わりがあったと認識している。</p> <p>現状では、いくつかの分野における社会問題に対して、課題の抽出や組織内での共有が十分に行われておらず、今後の方向性が明確でない状況が散見される。このような中で、人事異動によって、それまでの経緯や蓄積された経験や知恵、市民・関係者との信頼関係が継承されないまま、業務が実質的にリセットされてしまうのではないかと強い不安を抱いている。</p> <p>本質問では、今年度の人事異動の実態、業務継承の体制、職員の育成・確保の現状について確認するとともに、計画策定における人事異動のあり方や業務継承体制について、市の考えを伺う。</p>